

7月定例教育委員会会議録【概要版】

開催年月日	令和7年7月23日（水）	場 所	市役所本庁 災害対策本部室
開催時間	13時30分 から 15時00分まで		
出席者	教育長	高森 賢一	
	教育委員	宮田 靖、久世由美子、甲斐千尋、遠田真央	
	参 与	池田元洋、岩佐正文、佐藤幸恵、岩切隆人、早瀬誠一郎、吉田尚良、尾方農一、甲斐保孝、柴由美子、岡田健一、粟田茂樹、田中政秀	

◎ 開 会

高森教育長が開会を宣した。（13時30分）

◎ 会議録の承認

6月25日（水）に開催された6月定例教育委員会の会議録が承認された。

◎ 事務報告

◆教育長より以下の業務報告が行われた。

- ・ のべおか中学生A1クラブスタートセレモニー
- ・ 2025年原水爆禁止国民平和大行進要請活動
- ・ 第2回未来へつながる延岡市の教育環境づくり全体検討会議
- ・ 東京学芸大学「教育ウェルビーイング研究開発プロジェクト」
- ・ 学校訪問（西小、緑ヶ丘小、黒岩小中、南小、土々呂中）
- ・ 社会教育委員会会議
- ・ 社会教育委員と教育委員会の情報交換会
- ・ 文科省主催市町村教育長会議（オンライン）
- ・ 延岡市学校保健会研究大会
- ・ ジュニア科学者の翼結団式
- ・ 西小、緑ヶ丘小、方財小校長面談

◆教育委員より以下の報告が行われた。

宮田委員）今回、緑ヶ丘小学校や黒岩小中学校の学校訪問に行ったので、この2校に共通することとして感想を少し報告したい。2校の学校訪問を通して感じたことについて、まず1点目としては、わかあゆ教育プランに目

指す子ども像が掲げられているが、その具現化に向けた学校運営がしっかりと進められているっていう感想を持った。ただ単に言葉で言うんではなくて、校長先生がそういった教育活動のキーワード的な言葉として、幸動という言葉を具体的に掲げられていて、それを校長先生から先生方へ、そして先生方から子どもたちへっていうように、学校全体が意識を持って教育活動に繋げていけるような工夫がなされていると思う。2点目だが、学校の教育活動が、積極的に家庭とか地域に発信されているということ。手段としては、学校だよりとかホームページ等が工夫されており、そういった発信が学校の理解へ繋がっているんじゃないかなと思う。学校・家庭・地域との連携を意識した積極的な発信だと思う。どちらも、やはり家庭とか地域に信頼される学校づくりに向けた取り組みという形で努力されているっていうような印象があった。特に、黒岩小中学校は、特認校制度を活用した受け入れを行っているが、こうした家庭とか地域との連携の中で、受け入れの環境を学校としてしっかり整えていこうとする雰囲気があり、制度活用に繋がっているんじゃないかなと思う。3点目、授業も見せていただいた。授業の中でタブレットを使っている授業というのは、もう通常的にはなっているが、今回2つの学校で感じたことは、その場面場面の効果的な部分で使われているっていう感じがある。何でもかんでも使えばいいっていうようなことではないと思うので、こういった子どもたちの理解であったりとか実状であったりとか、それをうまくタブレットを使いながら、共同的な学習に繋がっていくような学習が展開されているっていうことは、かなり工夫されているんじゃないかなと思う。最後に4点目、施設のことについて、両日とも大変暑い中での訪問だったが、子どもたちはエアコンの効いた部屋で、快適な環境の中で学習ができる、大変羨ましいなと思ったが、こうした施設環境整備に向けた委員会のこれまでの計画的な取り組みという部分は、かなり評価されるんじゃないかなと思う。今後も、こういった子どもたちが学びやすいような設備の充実に、また繋げていただけるといいのかなと思ったところである。

久世委員) 宮崎県で新しいプールができたが、前に使われていたプールのコースロープを延岡の西階のプールにいただいたので、すごく今年からはいいんじゃないかなって感じている。社会教育委員との懇親会については、体調を壊して参加できず申し訳なかった。7月12日は、13日ののぼりぎる水泳競技大会の準備があった。のぼりぎる水泳競技大会っていうのは、まだこれは歴史が浅いが、なかなか参加者が少なくて、盛り上がりがないのかなと思ったら、参加した子どもたちがすごく頑張って泳いで、自己ベストが出たとか、よかったなどの声が聞こえてきたので、少

なくてもやっぱり子どもたちはしっかり頑張っているんだなっていうのが見られてよかったなと思う。18日は、A小学校の学校訪問に行かせていただいた。始めは何て静かなところなんだろうと思って見学させていただいたが、一部の子どもたちだと思うが、教室にちゃんと座って勉強したりいろんなことをするっていうのが見られなかったのと、うろうろしている子どもがいて、どうしたんだろうと気になった。やっぱり先生たちも、この子どもたちはなかなか上手くいってないような話をされたので、先生たちも苦労されているんだろうなと感じた。来月、市民水泳大会があるので、延岡市の市民水泳大会で51年の歴史ある大会に、いろんな市の方と協力しながら、今度はもっと盛り上げていこうじゃないかっていう話を2、3回やらせていただいて、うまくいくといいなと思っている。

遠田委員) プロサーファーとしての大会で、7月8日頃から、約1週間北海道に行ってきた。こっちだともう海パンとかで海に入れるが、向こうは冬用のウェットスーツがいるぐらい冷たくて、でも南風が吹いてくると温かくなって薄着で入れるようになる、この水温の差を感じた。行っていたところが厚真町という、何年か前に震度7の大きな地震があったところで、結構いろんな建物が壊れて、壊れた後は綺麗に作り直してあって、団地とかすごくおしゃれな感じで、こういう団地だったら住みたいなと思った。すごく印象的だったのが、まず、朝の3時半ぐらいに日が出てきて、もう海に入られるぐらい明るくて、夜の7時半ぐらいまでずっと明るかったんで、それがびっくりしたのと、砂浜について、多分世界的には減っていると思うが、その砂浜は逆に広がっているらしくて、そういうところがあるんだと。そこを参考にして砂浜が減っている問題を解決する方法がないのかなと思った。先日7月17日に南小学校の学校訪問に行った。昨日は土々呂中学校にも行ってきた。両校とも、その子どもたちが真剣に勉強しているように見えて、これはいいなと思ったのと、南小学校でちょっと驚いたのが、近くの平原のファミリーマート、あそこが送迎の親の車でいっぱいになるらしいっていう話で、ファミマを使う人が停められないっていうことで、警察とかにも相談しているぐらいの大きな問題になっているっていうのはちょっと衝撃的であった。土々呂中学校は、僕自身その学校訪問で中学校に行ったのは初めてだったので、やっぱり小学生と全然違うなって、ちょっと落ち着いている感じを感じたのと、校長先生と一緒に学校の中をいろいろ見せてもらいながら話した中で、ある先生は40歳で教師の資格を取って、今50歳だけど頑張っているとか、若くはないがまだ教師歴が3年とか、大学を卒業してすぐ先生になったとかではなく、途中で自分の仕事を変えて先生になっ

ている方が何人かいたので、そういう方達の今までの人生を振り返った話とかを子どもたちにもしてあげると、子どもたちと先生の信頼感とかも出るだろうし、キャリア教育としての1つのいい参考になるんじゃないかなと思った。

甲斐委員) 7月10日に教育長と皆さんと、社会教育委員との情報交換会に出席させてもらった。社会教育委員は16名の方がいるが、5月に新しく入った方の承認を終えて、どんな雰囲気かなと思って参加した。年齢差はあって、学識者も結構おられて、堅苦しくない、非常に和気あいあいとした雰囲気のグループだった。その組織の中で、1つは、組織の再構築、それから人材確保、延岡の魅力再発見と発信とかいうことをテーマにされて活動されているようだが、これだったら年齢差はあっても話がスムーズに、いろんな話がまたできるよねっていう雰囲気の人達ばかりで、自分も人見知りするほうなのだが、楽しく会話をさせてもらった。またこういう機会があれば、他の委員会もあるので、そういう方々と懇親を深めて、理解を深めたいなど考えたところである。

高森教育長) 先ほどエアコンの話が出たが、今全国的に体育館のエアコンってというのが話題になっているが、非常にお金がかかる。避難所としての活用も含めた国の補助等の話があったりして、そういったところを今検討している。文科省から私に直接電話で延岡は入れないのかという話もあった。今度県教委も来ることになっている。それから、落ち着かない子どもがいる学校もいくつかあったりして、その学校は今回、社会教育課とも連携しながら、はげまし隊を、ちょっと本来の趣旨とは違うが、たくさん大人たちの目に触れることで、少しでも改善に向かうようになっていうことでスタートする。あと、途中で教員になった方が、自分のことをキャリア教育で話してはということについて、非常にいいことだなと思った。先生たちも、自分の弱いところも含めて、失敗とか弱いところも含めて、子どもたちにどんどん自分の人生を語るということは非常に子どもたちにとってはいいのかなと思った。貴重なご意見をいただいたことについて感謝申し上げます。

◆各課からの事務報告

- 学校教育課長から、6月30日のA1クラブ発足セレモニー、7月11日のリスク管理研修会や6月期の生徒指導に関する状況等について報告があった。

◆補正予算報告

- 各課長より、6月議会に上程した補正予算の概要について報告があった。

◆ 6月議会一般質問報告

- 教育政策課長より、6月議会における一般質問について、5名の議員から、学校教育などに関する計5問の質問があった旨の報告が行われた。

◎ 議 事

◆ 議案第13号 令和8年度使用小学校用教科用図書の採択（学校教育課）

◆ 議案第14号 令和8年度使用中学校用教科用図書の採択（学校教育課）

- 学校教育課長より、以下の説明が行われ、異議なく承認された。

○この議案第13号・第14号は、令和8年度に市内の小・中・義務教育学校で使用する教科用図書について採択をお願いするものである。教科用図書、いわゆる教科書のことだが、この教科書については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条及び同法施行令15条の規定により、基本的な使用期間が4年と定められており、4年おきに採択替えが行われているので、そのことを踏まえた上で、議案について説明する。

○まず、議案第13号について、現在小学校で使用している教科書については、令和5年度に採択替えがあり、令和8年度は採択から3年目となる。また法令で定める4年間の使用期間内となっているので、令和8年度も今年度と同じ教科書を採択いただきたい。議案の2枚目に採択する教科書の一覧表を添付してあるので、確認をお願いしたい。小学校は全部で11教科13種目となっている。

○次に議案第14号について、現在中学校で使用している教科書は、令和6年度に採択替えを行っている。令和8年度は採択から2年目となる。こちらの中学校用の教科書についても、法令で定める使用期間となっているので、今年度と同じ教科書を採択いただきたい。議案の2枚目に採択する教科書の一覧表を添付しているので、確認をお願いしたい。中学校は全部で、10教科16種目となっている。

◎ 協議事項

◆ 生徒指導（いじめ、不登校問題）について（学校教育課）

- 学校教育課長より、いじめ問題に関する説明を行ったのち、延岡市の児童生徒のウェルビーイングの向上について、ワークショップ形式で協議を行った。

◎ その他

◆ 8月定例教育委員会の日程について（教育政策課）

- 8月定例教育委員会については、8月27日（水）の13時30分から、災害対策本部室で開催する。

◎ 閉会

高森教育長が閉会を宣し、終了した。（15時00分）